

2024年7月16日

レンブラントホテル海老名

## みんなの廃食用油で飛行機を飛ばそう！！ 海老名の夏祭りにて廃食用油回収イベントを実施

「Fry to Fly Project」 | SDGsの取り組み | 廃油リサイクル | 循環型社会へ

レンブラントホテル海老名（所在地：神奈川県海老名市中央、総支配人：田川祐介）は、2024年7月27日（土）えびな みんなの夏まつり、8月24日（土）第6回扇町おもいで祭りの当ホテル出展ブースにて、一般家庭の廃食用油の回収イベントを実施いたします。

当ホテルでは、脱炭素社会の実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」の主旨に賛同し、ホテル内厨房から排出される廃食用油を、SAF（持続可能な航空燃料）の原料として収集する取り組みを本年5月より開始しました。今回、海老名市内で行われるお祭りにて一般家庭から出る廃食用油を収集することで、資源循環の促進に積極的に参加できる機会をつくり、本プロジェクトの認知拡大を目指します。

### 〈廃食用油回収イベント概要〉

【実施日】2024年7月27日（土）えびな みんなの夏まつり

2024年8月24日（土）第6回扇町おもいで祭り

【時間】各イベント時間に準ずる（販売品なくなり次第営業終了）

【場所】各お祭り会場内 レンブラントホテル海老名出展ブース

【回収方法】専用回収BOXを設置し、廃食用油の回収を行います。廃食用油をお持ちいただいた方に1回につき1袋、「堅あげポテトチップス」をプレゼント

【回収する廃食用油について】

- ・1回につき200ml以上の廃食用油（植物性油）
- ・ペットボトルや牛乳パックなど、中身がこぼれない容器に入れ、固形油は混ぜずにお持ちください。
- ・天かすや生ごみ（調理ゴミ）、水分が入らないようお願いいたします。



昨年のお祭りの様子

### Fry to Fly Project



Photo by Tatsuya Tanaka

#### ■ Fry to Fly Projectについて

日揮ホールディングス株式会社を中心となり企業・自治体・団体と取り組む「Fry to Fly Project」は、家庭や飲食店などから排出される廃食用油という国内資源を原料とする航空燃料SAF（Sustainable Aviation Fuel）で飛行機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。家庭や店舗から排出される廃食用油から作られるSAFは、従来の航空燃料に比べてCO2の排出量をおよそ80%削減することができます。SAFが本格的に導入されるためには多くの廃食用油が必要となりますが、現在、家庭の廃食用油の多くは廃棄され、回収された廃食用油についても年間10万トン以上が国外に輸出されていると言われています。

「Fry to Fly Project」公式サイト：<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>